八月二十日　夕刊

日刊 但し日曜祭日翌日休刊
定價 一ヶ月 二十五錢 郵税 十五錢 一部二錢
廣告料 場所指定 一行四十錢 二十錢增
發行兼編輯印刷人 牛谷政喜
發行所 福島縣平市大町二十三番地 新いわき新聞社

夏蠶初秋蠶好成績
四倉市場廿日から開場

石城地方の夏蠶は少量だが弗々繭の出廻り期となつたので四倉市場は來る廿日から開場引續く初秋、中秋、晩秋繭の十月十五日頃まで取引をなす筈で五萬貫の出荷を見込むものに對し各所屬町村産業組合の立替があるので石双乾繭組合としては中央金庫から十萬圓借入で充分と云はれてゐる今年の夏蠶の實成績は平市片倉製糸特約の双葉郡津島、葛尾、川内、石城郡川前、三坂澤渡等各地共に天候順調の爲め頗る好成績で目下の糸價の高値に準じ六十圓台の好相場に喜ばれてゐる

護國の櫻
石城郡出身勇士

◇小野富康伍長、石城郡植田町出身富田(三)部隊に屬し活躍されてゐたが七月廿六日中支浙江省喜縣○○地で戰死を遂げた旨十一日部隊長から通知、留守宅には母よしさん(四四)と弟道雄君(一八)高(一四)昭三(一三)二君及び妹ぴで子(八)さんがある

九面中間檢査

石城郡勿來町九面の船溜場築設工事は小規模ながら常磐沿岸屈指の漁港となつた此の中間檢査を昨十一日農林省太田技師、本縣土木課金澤技師出張行はれた

米價益々高騰
最高十四圓六十一錢

石城郡販聯昨十一日の俵米共販は出荷六九八俵廿七名の競札で左記相場に取引されたが米價は漸次高歩調を示してゐる

▲平倉庫四俵(十四圓五十錢)同二號一〇〇俵(五十六錢)同三號一〇〇俵(五十七錢)飯野四〇俵(五十六錢)同二號三〇俵(六十一錢)草野一五〇俵(四十六錢)大野一五六俵(五十六錢)勿來六五俵(四十一錢)小川五三俵(五十五錢)

外部犯人の工夫も水の泡で自縄自縛
布團の襟から紙幣八十圓

小名濱町元町松原新八方同居同町水素工場職工大高德一事半島人金德用(三二)が同宿者齊藤庄之助所有の柳行李(オーバー、洋服、衣類及び百五十圓郵貯通帳、現金八十圓在中)を窃取した事件は昨報したが同盜難を外部からの賊に工作を凝らした大高は嚴重な取調べにも頑强に否認したもので其の筋に手を燒かせてゐたが七日に至り町内五十嵐きくから借りた大高の布團の洗濯に襟の中から盜んだ現金八十圓が現はれ遂に實を吐くところとなつたが大高は日素職工となつた昨年來酌婦に迷ひ遊興費に窮して齊藤の所持金を狙ひ機會を窺へる盜難の二日夜深更外部より戸締りを脫し盜んだ行李を海岸測候所脇に運び現金だけを懷中して行李を同所に殘し衣類その他を海中に投じ何喰はぬ顏で自家に戻り翌朝自ら盜難を發見狼狽を裝ふて警部補派出所に届出たが擧動の不審を睨んだ刑事連は大高に監視の眼を離さなかつたところ投海した贓品の一部が日素工場海岸に打上げられ試みに其れを犯人に突つけると同工場職工の渡邊某の素行が悪いからと犯人を同人の如く語つたが渡邊の取調べによつて大高の罪が暴露し疎にしてもらさぬ天網そのまゝのさばきに落ちたものである

戰地の便り
氣の毒な支那女性 幸福な日本婦人

(下) 石城郡江名町出身 戸田滿次郎

邦人五萬を初め華人百卅萬が擧つて種々の記念行事に反英運動に一段と緊張して居ります、租界問題も一觸即發の情勢吾々は常に緊張を續けて居ります、此の中に在りて健氣な若き女性達は看護婦としてタイピスト或は事務員として活躍してゐる方も若干人あります、女學生は勉學に精勵の餘暇には皇軍慰問に廻り或は病院列車患者見送に眞夜中驛頭に佇んでゐる姿をよく見受け目頭を熱くさせられます

支那の女學生は又皇軍の惠みに新生し鉄蹄に脅えつゝも勉學に努めて明朗建設東洋平和の一翼を擔つて居ります、氣の毒な支那女性を見るにつけ日本女性の幸福感を思はせられます、此の悲慘な試練を受けて立つ人達に將來共負ける事なく郷土を飾る優秀な賢婦人となられる樣益々努力して下さい、留守宅を何分よろしく御願ひ申します、未だ見ぬ三つの子供が元氣に步いて遊んでゐると聞えてますが

出征當時の覺悟以上に張切る元氣で東洋平和の爲めなれば今更生還を期して居りません、皆々樣の御後援を感謝し郷土の懷しき便りに喜びつゞ堅忍持久元氣一杯にて任務に邁進し御温情に應へる決心です、終りに皆々樣の御懇情を重ね深謝し御多幸を御祈いたして擱筆いたします、早々頓首

支那單語

風呂屋(錢湯屋)のことは噪堂子と書いてツアオタンツ、劇場は戲館子でシーコアンツ、料理店のことを飯館子と稱してファンコアンツと呼び、喫茶店は茶館兒でチァーコアルと云

富士登山の
駒木根忠徹君

靈峰富士の頂上よりはるかに貴家の彌榮と御一同樣の御健勝を祈り上げます、齋々と漂ふ幽玄、自然の秘境官幣大社淺間神社奥宮に、頭を垂れて、名山富士の頂高く、氣高い香氣の中より

漁夫出漁中喧嘩

石城郡江名町の北街漁夫忠賀忠吉(五四)は同町佐藤功五郎所有鰹漁船に乘込み千葉縣沖に出漁中同僚漁夫江名町生れ坂本庄次(四〇)と口論掴み合ひをなし庄次の顏面各所に爪を以て全治十日間の傷害を與へ一昨十日歸港上陸と同時に平署に檢擧取調べを受けた

中谷判事逝く

平區監督判事中谷爲吉氏は病氣療養中であつたが十日午後九時遂に逝去した、享年六十告別式は十三日午後一時自宅で執行、同氏は德島縣生れ大正六年水戸地方裁判所判事から千葉、土浦、高田を經て昭和三年平へ後福島、盛岡を歷任昭和十三年九月再び平區に轉じ今日に及ぶ

滿支の視察から (42)
本縣囑託 關内正一氏

七月二十一日

大上海、それはあらゆる點に於て魅力を持つ國際都市であつて、世界のあらゆる人種の展覽會の樣である、又白晝追剝もあれば、ピストル强盜も人さらひもあると云ふ魔の都でもある、而しその生々とした資本力、經濟力の强大さは實に世界經濟界の一半を左右するものであると云ふ。人口實に三百萬とも稱し四百萬とも稱されて居る。上海は揚子江に注ぐ黄浦口に沿つて發展し、佛租界と租界外の三つに大別された市街である更に黄浦口に注ぐ蘇州河に依つて共同租界を中斷され同じ共同租界であつても、右は日本人が多く居住し左は純然たる外國人と支那人だけの居住地となつてゐるその蘇州河にかけられたる各橋を中心として、日本の水兵さんが嚴然と警備してゐる一方、又外國艦隊が警備してゐると云ふ有樣である。午後五時(日本時間六時)には蘇州河に架けられたる橋は特別な査證を有せざる限り通行は禁止されてゐると云ふ。

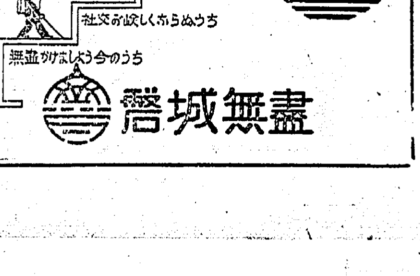
上海の乘物は實に雜多である、電車は無軌電車と有軌電車とがある。一の電車の箱の中が綠と黄に塗り分けられてゐる、綠は特等、黄は並等である。便利なものに公共汽車がある。即ちバスである、バスには二階つきのバスもある。その他黄包車(人力車)がうるさい樣にたかつて來る。蘇州河の兩岸には大厦高樓が櫛比してゐる、私の宿「新亞細亞」ホテルも上海郵政局の隣りの八階建の堂々たるものである、室の窓からは蘇州河を隔てた租界地のバンド街もガーデンブリッヂも見渡すことが出來る、人車織るが如く、總てか生きてゐる樣だ、街頭で特に目に付くのは圖体の大きな一樣に黑いアゴヒゲをはやし頭に布を卷きつけ眞黑い顏をした印度人交通巡査である、これら印度人は又大きな商店會社、官衙、ホテル等には必らず門番をしてゐる事だこれで大の親日派だと云ふから愉快である。

御誂ひも既製品も
(高) 高島屋洋服店 平二電三八六

甲種臨海便り
平第一校(第四報)

八月十日(水)雨後晴

昨日午後からの雷雨は遂にこぢれて了つたらしく今日は起きるとから雨だ。雨の海はほんとに退屈な物だ。五時半起床。部屋の整理、洗面、終つて部屋の中で宮城遙拜、挨拶ラヂオ体操をする。何となくつまらない。昨日の樂しみだつた飛行機見物も出來さうになつてゐる。外には小雨が煙い。食事の後勉强にかゝつたいつもより長い勉强だ。十時頃雨が上つたので皆で海へ出かける。海水浴場の危險の札のかゝつてゐるあたりに凄く澤山な海草が打ち上げられ大勢の人が海草を山の樣に拾つては運んで居た。僕等の目的は仁井田浦の飛行機だ。幸に空からは薄日も洩れ出して來た。遠い道だ。點々と赤帽が續く。走る、叫ぶ、ボールを投げる。仁井田浦の先の原つぱの入つた所に飛行機が行儀よく並んでゐる。見物人が澤山集つてゐる。僕達は飛行機の色々の話をお聞きした。間もなく飛ぶのださうだ。もうお晝過ぎになつたので僕達はそろ／＼歸途についた。そして其處から四百米程此の方で見物して居た。間もなく飛行機は大勢の人の手で砂濱に運ばれて來たけれど、いろ／＼の準備があるらしく人々が行つたり來たりしてゐる。其の内プロペラの廻し方が始まつたプロペラに綱をつけて大勢で引つぱつたがエンヂンはかゝらなかつた。二、三度失敗した。後右側の飛行機のプロペラが勢よく回轉し出した。つゞいて左のにもエンヂンがかゝる。ブルル……僕等の所にもはつきりと聞える。僕等は大喜びだ先生方は代る／＼望遠鏡で見てはいろ／＼と情況を放送する。その中に右側の機がゆる／＼滑走し始めた五十米、百米、百五十米、段々速力が加はつて機はフワリと砂を離れた。凄い爆音、僕等の頭上をすれ／＼に飛ぶ飛行機から操縱士が手を振つて行く、僕等も思はず萬歲を叫んだ。機は北から西へ、それから南へ向つたと思ふとグツと機首を下げながら東から北へ向つて着陸するかと思ふ程下つて來ると又爆音勇ましく舞ひ上つて一旋回した。二回目の回旋にかゝつてゐる。間に地上の一機が滑走し始めるかうして四回程低く回旋して飛行機は眞直ぐに南へ飛んで行つてしまつた。遲い晝食を終つて午後は海氣館の前で水泳の練習をした。今朝の雨を忘れた樣に太陽は雲の間からギラ／＼と輝いてゐる。海の水も昨日よりずつと暖かだつた。砂原に太陽がかげるまで遊んでから海岸を一巡りして宿に引き上げた。朝は隨分つまらなく思つたが今日は今までの中で一番面白く愉快な日であつた。



産業方面

民間の要望に 國有林の増伐

(下) 牧野供用地の擴張にも乘り出す

△ガソリン代用の新木炭についても其の原木に國有林の特賣をもつて便宜を與ふることは勿論であるが此の製法に群馬縣沼田の成功を報ずれば燃料國策からガソリン代用の蒸化自動車用木炭の製炭研究は非常に期待されてゐるところであつて群馬縣沼田町の佐々木市次郎氏は神奈川縣木器技師の考案發表にかゝるアンモニア水の密閉蒸化法製炭に成功した其の方法は、

即ち從來噴霧器で開放的に蒸化してゐたものを木器式によつて十五倍硫酸アンモニア水を竈口を嚴重に密閉して排煙口から注入し竈底に設けた撒條の溝に流し込んで完全に蒸化を計つて製炭したところ蒸化百%の製品が生産され樋口沼田木炭検査所長立會の上實際試驗の結果その成績がすばらしいのでガソリン代用としてこれなら大丈夫である

と折紙をつけられたものである、從來のものなれば四、五分かゝらなければ瓦斯が發生しなかつたものが僅かに一分間たらずでもつて完全に瓦斯が發生し東京市までの山坂道同蒸化木炭十キロ入り十二俵で少しの不足もなく走破した而して其のスピード化も意外なる好調を認められたのであるが手入れの如きも途中二回と云ふ成績を示した(完り)

暑中御伺

石城郡植田町長 古川進

石城郡四倉町長 新妻盛

片倉磐城製糸株式會社 電話八一・八二番

賣藥化粧品、醫療器械 星チエンストアー平支部 ★ホシ藥舗 平三丁目 電話四二九番

平市研古區長 木澤常松

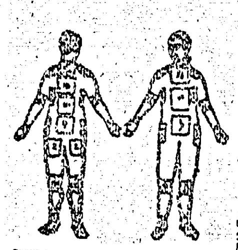
有煙無煙石炭 木材販賣業 高橋龜松商店 平市 電話六三八番

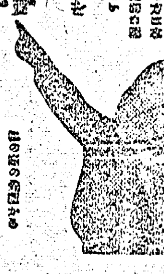
平製氷株式會社 電話三一六・三二八番

看護婦

肉の御用命は 三二三屋 牛も豚も優良品の自慢

一般印刷物も御引受致します 新いわき新聞社印刷部





定價 四〇瓦入 五十錢 八〇瓦入 九十五錢

平市 五丁目角 山野邊藥局

電話五九二番に變りました

食事。喫茶。酒場を兼ねた。 レストラン サロン 平市銀座街

病室增築、手術室完備 産科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄三 平市新川町「電話三六九番」

カバンと洋品類

眞砂屋 (平市新道通り驛前) (電話六五)

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し内科、小兒科の診療に從事せしむ、

平病院 (平市元共濟病院跡 電話六四一番) 院主 院長 醫學博士 鈴木定藏

內科 小兒科 院長 鈴木定藏 副院長 土井利明

內臓外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸

レントゲン科 物理的療法科 院長 鈴木定藏

藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 每日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す(急患は此の限りにあらず)

安田系統の帝國海上 帝國海上火災保險株式會社 平代理店 關内正一 事務取扱者 阿部助次郎 平市二丁目 電話一六番